ヨハネによる福音書　7章

2012/06/19

文責：政木 敦憲

1. 1節に「イエスを殺そうとしていたので、ユダヤを巡りたいとは思われなかった」とありますが、イエスの力を以てすれば災いを避けるのは可能ではありませんか？なぜユダヤに赴いてユダヤ人を教導しようとしなかったのですか？

お・では聖書の素晴らしい言葉に導かれて行こうではないですか

お・何かありますか

＠・仮庵とはなんでしょう

お・くると思ってました。

Ｆ・談合か・・・。

お・まあ旧約聖書見といてね。他は。

塁・割礼とは。

お・それもくると思ってました

ｈ・一年生組んでんじゃねえか

お・儀式的なアレですね。ユダヤ教でも残っているそうです

う・皇太子もなされているそうですね。ユダヤ教ひっぱってくるときも割礼の後を探すらしいですよ。

お・まあ綺麗にしとくに越したことはないと。ふふふ・・・

ｈ・なんで笑顔で言うんだよ（笑）

お・じゃあ本文に移りたいと思います。Ｑ１からいきたいとおもいます。まあ１，２分お考えください

お・じゃあまあそろそろいきますか。そんなにめっちゃ難い質問でもないでしょ。

塁・まあ先週のユダのアレと同じじゃね

お・それはひとつある。他は？φさん

Φ・大体おんなじだけどまあ人心操れるわけじゃなくね

お・まあそんな感じだとおもいますけど　特に我こそはと思う方は手を上げて下さい

　　ではうさんお願いします

う・今言った感じでいいのでは

お・一番最初に考えたのはまあ塁と同じ感じだよ。２つ目はイエスも人間だからそんな万能じゃなかったんじゃないの。

み・補足として。自分が生まれた土地で信じられにくいということも分かってたんじゃないのかな。

お・そうですね。今まであがったことに反論等があればお願いします

＠・じゃあ。英語だと何か血の気立ってたから、イエスがばーーーーってやったら（？）悪魔みたいになっちゃうんじゃないの。余計に敵が増える気がする。

う・人は自発的な行動心を尊重されるようにこころがけられたのではないか。

　　騒ぎが膨張する時でもなかった（だから避けた）

お・ありがとうございます。まあ次いってもいいんですが前半部分でなんかあればお願いします

＠・イエスに兄弟いたの？何人？

お・まあ何人とかは結構微妙なライン。♀さんどうでしょう

♀・四人と妹二人。ヤコブは兄じゃないか

お・他になにか

め・１４節で何で中ごろみたいな感じになったの？

お・いい質問だねっ。では＠どう？

＠・ユダヤ人が仕切っているから校長先生（？）が来てガーーーーーーってなるから（？？）ビックな群衆になってきたときにブワーーーーーってきたんじゃないの。

1. 5節に「兄弟たちもイエスを信じていなかった」とありますが、それは3,4節の兄弟たちの言葉のどこに表れているのですか？

お・まあ二つめ行きますか。Ｑ２いこう。２分ね2分。

お・じゃあみさん。

み・イエスの意志に反してユダヤに行きなさいと言ってるところでは。

　　口答えみたいなことしているしね。

お・じゃあｈさん。

ｈ・たくさんの人の前で目立たせることはイエスの意志に反しているからこれは信じてないことなのでは

お・いやーもう真実に近いですよね

＠・真実・・・・。

（会場戦慄）

お・うさん。どうでしょう。

う・イエスがまだいたいときに出てけっていっているあたりですね。神が行動に移す時がその時なのに兄弟がやんややんや言ってる辺りでは。

お・そんな感じではないでしょうか。挑発的な態度をとっているあたりが露骨ですよね。

　じゃあまあ他にあればどーぞ。

お・いやあまだ自分は若輩の身なんでぇ、経験豊かで質実剛健、豪放磊落、頭脳怜悧な先輩方の意見を是非是非ご拝聴したいもんですなぁ。

み・１８節の「不正」「不義」という言葉を掘り下げていただきたい

お・まあ自分もちょっと分からないんで、め君なんかありますか

め・いやあよくわかんないですね。特にこれといった意味があるのか、と。

み・これらのワードに含意しているものがるのでは、と。

う・ざっくり言うと神がいいな、正しいなと思うことがまことなのでは。

み・いまいち自分の中での落とし所が曖昧ですね。まことっていうのは利己的な部分をいれず、神からの意志を受けることでは。不正は逆の意味かな

お・ありがとうございます。

1. 6節の「あなたがたの時はいつでも来ている」とはどういうことですか？また、6節の「わたしの時」、8節の「わたしの時」、30節の「イエスの時」とは同じ時ですか？また、何の時ですか？

お・じゃあ次行きます。Ｑ３いきましょう。め行こう

め・一緒じゃないんじゃないか。あなたがたの時ってどーいうこと。

お・じゃあ他の方はどう思うでしょうか。塁は

塁・6≒8≠30なのでは。

お・他の人は。

＠・５章25節を参照したい。先週の経済史入門で神の視点で考えれば時間の定義、審判の時は「今」になるんですかねってこと言ってましたよ

う・ちょっと万民にはわかりにくくないですか

Φ・６節８節、「あなたがたのとき」ってのが同じ意味だと捉えられるのではないか

♀・６，８、３０節は全てキリストが十字架かけられるときでは

Φ・一回考えたけど6節が対になっていると仮定するとやや根拠が少ないかな。

う・やっぱり６と８は一緒で３０は違うのかな

＠・５章２５節のとこはどうしましょう。

う・精霊が入ってない→だから死人なのでは。神の声を聞いて信じたら精霊が中にはいり生きるということでは。

お・ありがとうございます。ちょっとここは厳しかったのかな

4.　10節に「公にではなく、いわば内密に上って行かれた」とありますが、なぜ祭りに行ったのですか？また、なぜ内密に行ったのですか？

お・じゃあ次Ｑ４行きましょうか。少し考えて下さい。じゃあΦさん

Φ・内密に言ったのは情報漏洩して待ち伏せされるのを防ぐためでは

♀・特に理由はないのかな。イエスきたイエスきたってなっても混乱するしね。こっそりといった感じでは。

Ｆ・４節に対応しているのでは。兄弟に言われたから逆に行ったんじゃないの。イエスが天の邪鬼説。

お・まあ大体Φさんと♀さんが言ったことなのでは。

Ｆ・真相は闇の中。

お・なんやかんやでイエスやってくれんじゃねみたいな感じか。ありがとうございます。

5．30節、44節でイエスを捕らえようとする人がいますが、なぜ手をかけた人はいなかったのですか？

お・じゃあＱ５行きましょうか。１分くらいで。＠いこう

＠・１５節でイエスの話聞いてなんらかの琴線に触れたことが殺そうとかいうのを止めたのでは

み・手をかけるものはいなかったという辺りですか。神の意志みたいな節はあるとは思います。また実際イエスを目の当たりにするとやっぱできないなみたいな、のもあるかと。うさんどうでしょう

う・１２節で色々噂みたいになっているから、そこで手をかけにくいみたいのもあったのかな

お・とまあそんな感じでそろそろ時間なのですがＱ６いきましょう

6.　39節の「栄光」とは何のことですか？また、「御霊が注がれる」とはどういうことですか？

♀・どうでしょうか。やや捉えにくいですね。栄光って18節にでてきましたけど。

う・イエスが死んじゃうことかな、と。で弟子に精霊を注ぐみたいな。

み・栄光とはイエスが死ぬこと？

う・恐らくそんな感じでは。

＠・（長いので割愛しました）